



▶富山県氷見市

ハンドボーラー憧れの地として 選手権大会を存続

氷見市は、小中学生のチームが全国優勝するなど、ハンドボールが盛んな市であり、平成17年度からは「春の全国中学生ハンドボール選手権大会（春中ハンド）」を開催しています。しかし、春中ハンドの開催にあたり、大会の継続開催に向けた資金確保が課題となっていました。

そこで、ふるさと納税の使い途として「春中ハンドの継続開催に向けた支援」を加え、さらに、クラウドファンディング型のふるさと納税を併せて実施しました。

また、氷見市に縁がある首都圏在住者で組織する「東

京氷見会」に取組への協力を依頼しました。

寄附者に対しては、春中ハンドの大会プログラムや大会決勝戦のチケットを届けることで、大会期間中に氷見市へ足を運んでもらえるよう工夫しています。



地元中学生ハンドボーラーも躍動



地元中学校の代表選手による選手宣誓

注力した点や工夫した点

ハンドボール雑誌で取組を紹介していただくなど、ハンドボールのファンの方にも取組を知ってもらえるよう広報活動に力を入れています。

Check

取組の効果

全国各地からのご支援により、平成31年度の第15回大会まで継続開催となりました。また、大会期間中は、市内の地域ごとに各都道府県の代表チームを応援する「応援サポーター」が300人以上参加し、市民ぐるみで大会を盛り上げ、各地域とチーム関係者の交流も行われています。

また、この取組を通じてハンドボールファンの方に向けても氷見市の魅力を伝えることがで

きることから、市のPRにもつながり、相乗効果が生まれています。



地元中学生ボランティアが大会運営をお手伝い



地元の応援サポーターと各都道府県代表チームの交流

寄附者の声



・学生時代はハンドボール部でした。競技引退後に、ふるさと納税という形でハンドボールに関わることができて嬉しく思います。

住民の声



・ハンドボールの楽しさをもっと多くの方に知ってもらいたいです。